



夢や希望を実現できる年に

京都府知事 **西脇 隆俊**

新年あけましておめでとうございます。

府民の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返って

昨年は新天皇が即位され、平成から令和へ、新しい時代が幕を開けました。令和という元号には「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という願いが込められております。日本文化の中心である京都府として、府内の多様な地域文化を世界へ発信していく務めを改めて自覚する契機ともなりました。

振り返りますと、6月のG20大阪サミット、9月のICOM（国際博物館会議）京都大会、そして先のラグビーワールドカップ2019日本大会と、折々に多くの観光客の皆さまにお越しいただき、世界中から日本が、そして京都が目される一年でありました。

さらに、京都大学ご出身の吉野彰氏がノーベル化学賞を受賞され、2年連続で京都ゆかりの方が荣誉に輝くという大変うれしい出来事もございました。

一方、京都アニメーション第1スタジオの放火によって多くの方々がお亡くなりという大変痛ましい事件も起こりました。衷心よりお悔やみを申し上げますとともに、今なお治療を続けておられる方々の一日も早いご回復を祈念申し上げます。京都府といたしましても、引き続き、被害者やご家族の皆さまに寄り添った支援をまいります。

「京都夢実現プラン」始動

われわれが置かれている社会情勢を見渡すと、少子・高齢化と人口減少の本格化に加え、グローバル化の進展によって国際情勢の変化がわれわれの生活にも直接影響を及ぼす状況にあります。また、頻発する自然災害など多くの課題が横たわっています。これらに対応するため、京都府では昨年10月、府政運営の指針となる新しい京都府総合計画「京都夢実現プラン」を策定いたしました。

この総合計画は、「一人ひとりの夢や希望が全ての地域で実現できる京都府」という2040年の将来像をめざし、行政分野や地域ごとの具体的な取組方策等を定めた

ものです。府民の皆さまや地域、企業などと共に取り組みを進め、総力を結集し、めざす将来像の実現に向け果敢にチャレンジしてまいります。

京都の潜在力を生かすために

本年は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京2020」）が、そして来年にはワールドマスターズゲームズ2021関西が開催されます。こうした機運の中、府内初となる専用球技場「京都スタジアム」が完成し、迫力のあるスポーツイベントを臨場感いっぱい楽しんでいただけるようになりました。同スタジアムを京都府中北部地域へのゲートウェイとして地域活性化を図るとともに、スポーツを通じて関西一円を元気にしてまいります。

そして、東京2020の開催に合わせ、日本の美を体現する「日本博」が文化庁主導のもと全国で開催されます。この機会に京都府では「京都文化力プロジェクト2016-2020」の総仕上げとなる総合的な文化の祭典を開催するほか、2021年度を目標とする文化庁の本格移転を見据え、文化の保存、継承、創造、発展にも力を注ぎます。

また、伝統産業とその技を生かした新技術、観光・文化産業、ハイテク産業が三位一体となり、さらに大学等が集積した京都の潜在力を大いに発揮することが求められます。京都経済百年の計となる「京都経済センター」を核に、起業から成長支援、海外展開、人材育成まで、イノベーションが起り続ける事業環境の創造を進めてまいります。

共に、新しい時代へ

こうした取り組みの源は人です。就任以来、一貫して進めてきた「子育て環境日本一」の実現に向け、2040年までに全国平均並みの合計特殊出生率を達成すべく「子育て環境日本一推進戦略」を策定しました。この目標の達成は容易なことではありませんが、「水滴石を穿（うが）つ」と申します通り、粘り強く取り組んでまいります。

今年、十二支の始めである子（ね）年。『漢書』律曆志によると、新しい生命が種子の中に萌（きざ）し始める状態を表しているとされています。この新しい年を、府内全ての地域が活力にあふれ誇りを持って、新しい時代の京都を築き上げるための第一歩とするため、共に歩んでまいりましょう。

今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。



笑顔あふれる京都を共々に！ 京都の強みである市民力・地域力・ 文化力を更にいかして！

京都市長 **門川 大作**

あけましておめでとうございます。

皆様の常々の御指導・御支援に心から感謝し、この一年の御多幸をお祈り申し上げます。

市長就任以来、現地現場主義に徹し、お訪ねした1万を超える現場・市民の皆様の御活動の場で、改めて京都の市民力・地域力の素晴らしさに感動、感謝。皆様のお声を市政にいかし、厳しい財政の中でも、いのちと暮らしを守り、福祉、子育て・教育、文化、環境、景観、経済の活性化、防災・安心安全を最優先に、皆様と共に汗する「共汗」で挑戦し続けてまいりました。

お陰様で、例えば、ごみ量はピーク時から半減。国基準の1.3倍の優れた保育士を確保し、保育所等6年連続待機児童ゼロ。小中高の教育を充実。市内の犯罪は5年間で45%減と過去最少。京都経済百年の計「京都経済センター」をオール京都で開設し、中小・地域企業を応援する条例を制定、支援体制を拡充。

民間で実施する方が良い仕事は民間に！行財政改革の断行！市職員を3,300人削減、年間270億円の費用を捻出し、市民の皆様にお約束した政策・公約を実現！

（国の交付税の大幅削減、昨年災害対策、福祉予算増等により財政は厳しい状況）

これらの結果、京都市が、「誰一人取り残さない」社会を目指す国連の「SDGs」先進度や都市力の総合評価（2年連続）で全国1位に。そして、市内の雇用者数は5年間で5.7万人（うち正規雇用4.2万人）増、市税収入は6年間で246億円増など、未来に明るい兆候！市民の皆様御尽力の賜物と心から感謝しています。

一方、観光消費額が1.3兆円（京都市民の年間消費支出の52%に相当）を突破した観光面では、「混雑」「宿泊施設の急増」「マナー対策」など新たな課題も。違法民泊は99%を営業中止・撤退させ、さらに市民の安全安心と地域文化の継承を重要視しない宿泊施設は「お断り」するなど、市民生活を最重要視した持続可能な観光へ、皆様と共に50の取組を徹底します。

新たな年を迎え、京都のまちをより安全安心に、より豊かに発展させていくべく全身全霊をかけて取り組む決意を新たに。

京都市京セラ美術館の再オープン、文化庁の京都への全面的移転や京都芸大の移転も見据え、文化・科学、地域力・人間力などあらゆる京都の強みをいかし、新産業の創出や、社会課題の解決を目指した「スタートアップ・エコシステム」構築へ！それらを市民生活の豊かさにつなげ、「世界の文化首都・京都」への飛躍を目指し、市民の皆様と共に全力を尽くしてまいります。

栄えある受章おめでとうございます

令和元年 秋 旭日単光章 令和元年 秋 旭日単光章 令和元年 春 藍綬褒章



(中小企業振興功労) ※経済産業省

園部 平八 氏

京都府料理生活衛生同業組合
理事長



(生活衛生功労)

阿部 弘 氏

京都府クリーニング生活衛生同業組合
理事長



(生活衛生功績) ※中央推薦

三嶋 吉晴 氏

京都府麺類飲食業生活衛生同業組合
理事長

栄えある受賞おめでとうございます

令和元年度生活衛生功労表彰受賞者 (敬称略)

厚生労働大臣表彰者

食肉	尾崎 一男
公衆浴場業	鈴木 信也

中央会理事長表彰者

クリーニング	田崎 保男
クリーニング	安田 義一 ※中央推薦
美容業	原口 潔治

知事表彰者

公衆浴場業	明光 輝二	食肉	坂本 秀史
旅館ホテル	神田 和行	寿司	榎本 倫夫

協議会会長表彰者

旅館ホテル	磯橋 克康	食鳥肉	松本 嘉広
旅館ホテル	井上 義一	飲食業	里井 伸市
食肉	木村 昌彦	飲食業	上田 ヤヨイ
食肉	山崎 孝良		



指導センター事業開催報告・お知らせ

◆ 第39回京都SeeLフェア (令和元年10月27日)

京都市上京区・平安女学院において開催しました。好天に恵まれ、各生衛組合がそれぞれに工夫を凝らした飲食・販売や展示を行う「SeeLプロの個性派屋台」、理容組合による「理容師によるフェイシャル美容法」、クリーニング組合による「プロが教えるアイロン仕上げのコツ」、麺類組合による「そば打ち実演ショー」、京の料亭の味を学校の調理室で実習する「楽しい京料理教室」、各生衛組合提供のお楽しみ抽選会などにより、生衛業への理解を深めてもらう交流の機会とすることができました。



◆ 後継者育成支援事業 職場体験授業 (令和元年11月6日～8日)

理容・興行・美容・麺類・寿司・喫茶・料理各組合全13店舗 / 平安女学院中学校

店舗では、開店準備の掃除や配膳のお手伝い、挨拶の仕方などが教えられ、来店されたお客さまへの対応にも積極的に取り組んでいただきました。働くことの難しさやコミュニケーションの重要性などの学びを通して意義ある体験授業となりました。

◆ 後継者育成支援事業 出前授業 (令和元年11月18日)

麺類組合 京都市立洛風中学校

業界を代表する職人を講師に迎え、技術の披露とそばを切る作業の体験実習、修行時代の仕事に対する向き合い方についての講義を通して、生衛業の一層の理解を深めてもらう機会となりました。

◆ 生活衛生営業経営研修会 (令和元年11月19日)

① 『日本酒の基礎知識と日本産酒類の消費と輸出の動向について』

大阪国税局課税第二部酒類業調整官(前左京税務署長)加藤 敏博氏より酒税の歴史や酒税行政の主な課題や取り組み、酒類の地理的表示制度などについてお話をいただきました。

② 『消費税の軽減税率制度についての注意点』

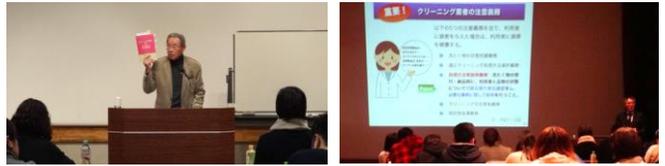
大阪国税局課税第二部消費財課 軽減税率制度係長 秋田 徹也氏より事業者が知っておくべき軽減税率の対象品目と適用税率の判定、区分記載請求書等の記載事項と消費税額の計算方法についてお話をいただきました。

出席者からは、知識の再認識や日常業務に活かせる内容であったとの声をいただきました。



◆ クリーニング業務従事者講習 (令和元年12月8日)

京都市中京区・ハートピア京都において開催しました。クリーニング業法に基づく条例や感染症対策、長期間放置品への対応、注意が必要な素材と事故防止対策、改訂クリーニング事故賠償基準など業界を取り巻く環境や消費者から求められている諸問題を取り上げ、受講いただきました。



<無料税務相談会>のお知らせ

日時 令和2年3月2日(月)
13:00~16:00
※事前予約制(一人1時間まで)
場所 京都府生活衛生営業指導センター
申込先 当センターへご予約ください。
TEL 075-722-2051

[会議・研修会等]

● 後継者育成支援講演会

日時 令和2年1月28日(火) 14:00~
場所 平安女学院大学 Mホール
演題 京都の造り酒屋、伝統・技術の継承と革新
講師 佐々木 晃 氏 / 佐々木酒造株式会社 代表取締役

● 第4回景気動向等に関するアンケート調査(2020年1月~3月) 第4回生衛業経営状況調査(2019年10月~12月期)

提出期限 令和2年2月3日(月)

● 衛生水準の確保・向上事業推進会議

日時 令和2年2月14日(金) 15:00~
場所 京都ガーデンパレス



研修会開催に
関するお願い

令和元年度中に経営や衛生等に関する研修会の開催を予定されている生衛組合は、お早めに当センターまでご連絡をお願いいたします。

Kyoto SeeL通信

Vol.200 2020Winter

編集・発行人

山岡景一郎

公益財団法人
京都府生活衛生営業指導センター

京都市左京区田中西樋ノ口町90
TEL 075-722-2051
<http://www.kyoto-seel.com/>

Homepage

Facebook

